

2 3 精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
E- 1	電気設備工事特記仕様書	E- 31	緊急通報設備 新館棟 1階平面図(改修前)
2	緊急通報設備・放送設備 配置図・案内図	32	緊急通報設備 新館棟 2階平面図(改修前)
3	緊急通報設備 機器仕様書(改修後)	33	緊急通報設備 新館棟 3階平面図(改修前)
4	緊急通報設備 機器姿図(改修後)	34	緊急通報設備 新館棟既存棟 1階平面図(改修前)
5	緊急通報設備 系統図(改修後)	35	緊急通報設備 新館棟既存棟 2階平面図(改修前)
6	緊急通報設備 本館棟 1階平面図(改修後)	36	緊急通報設備 医療観察法病棟系統図(改修前)
7	緊急通報設備 本館棟 2階平面図(改修後)	37	緊急通報設備 医療観察法病棟 1階平面図(改修前)
8	緊急通報設備 病棟 2階平面図(改修後)	38	緊急通報設備 医療観察法病棟 2階平面図(改修前)
9	緊急通報設備 病棟 3階平面図(改修後)	39	放送設備 病棟 2階平面図(改修前)
10	緊急通報設備 新館棟 1階平面図(改修後)	40	放送設備 病棟 3階平面図(改修前)
11	緊急通報設備 新館棟 2階平面図(改修後)	41	放送設備 新館棟 2階平面図(改修前)
12	緊急通報設備 新館棟 3階平面図(改修後)	42	放送設備 新館棟 3・R階平面図(改修前)
13	緊急通報設備 医療観察法病棟 1階平面図(改修後)	43	放送設備 医療観察法病棟 1階平面図(改修前)
14	緊急通報設備 医療観察法病棟 2階平面図(改修後)	44	受変電設備 配置図・案内図
15	放送設備 機器仕様書(改修後)	45	受変電設備 単線結線図(改修後)
16	放送設備 システムブロック図・機器姿図(改修後)	46	受変電設備 電気室平面図(改修後)
17	放送設備 本館棟 1階平面図(改修後)	47	
18	放送設備 病棟 2階平面図(改修後)	48	
19	放送設備 病棟 3階平面図(改修後)	49	
20	放送設備 新館棟 1階平面図(改修後)	50	
21	放送設備 新館棟 2階平面図(改修後)	51	
22	放送設備 新館棟 3・R階平面図(改修後)	52	
23	放送設備 医療観察法病棟 1階平面図(改修後)	53	
24	緊急通報設備 本館棟機器姿図(改修前)	54	
25	緊急通報設備 本館棟地階平面図(改修前)	55	
26	緊急通報設備 本館棟 1階平面図(改修前)	56	
27	緊急通報設備 病棟 2階平面図(改修前)	57	
28	緊急通報設備 新館棟機器姿図(改修前)	58	
29	緊急通報設備 新館棟系統図(改修前)	59	
30	緊急通報設備 新館棟地下 1階平面図(改修前)	60	

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

	設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当				縮尺 A1: N/S A3: N/S	工事名称 2 3 精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	図名 図面リスト	図面番号 E-00
--	-------	----------------------------------	--	--	--	--------------------------	----------------------------------	-------------	--------------

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

- 1.1 工事名 23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事
- 1.2 工事場所 北足立郡伊奈町小室818-2
- 1.3 工期 契約日から令和6年4月30日まで

1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

<ul style="list-style-type: none">電灯設備動力設備熱電設備雷保護設備受変電設備電力貯蔵設備発電設備構内情報通信網設備構内交換設備情報表示設備映像、音響設備拡声設備 (非常放送設備)誘導支援、呼出し設備	<ul style="list-style-type: none">テレビ共同受信設備テレビ電波障害防除設備監視カメラ設備駐車場管制設備防犯、入退室管理設備自動火災報知設備自動閉鎖設備ガス漏れ火災警報設備電話配管設備中央監視制御設備医療関係設備昇降機設備緊急通報装置設備
---	---

- 1.5 指定部分 ○無・有(工期:令和 年 月 日)
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
 - 1 専任期間の始期 請負契約締結の日から、(○現場施工に着手するまで(現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間・令和 年 月 日までの期間)については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 2 専任期間の終期 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
 - 3 専任期間の中断 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時的に中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要

本館棟・病棟 RC造 地上3階塔屋1階 延床面積6,572.54m ²
新館棟 RC造 地下1階地上3階 延床面積7,089.10m ²
医療観察病棟 RC造 2階建て 延床面積2,487.29m ²
エネルギー棟 RC造 2階建て 延床面積4,500m ²

1.8 工事仕様

- 既存緊急通報装置設備の改修、それに伴う放送設備の改修を行う。
- 既存受変電設備の改修を行う。受変電設備の改修は、令和5年10月中旬に行われる停電検査に合わせて行うこと。
- 9 同時発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

2 工事仕様

2.1 共通仕様

- (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(以下「標準仕様書等」という。))及び監督員の指示に従い施工する。なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
 - (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
 - (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
- 2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項
1 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律(第91号)に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
3 工所用電力・水	本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。
4 工所用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
5 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で、設ける(規模) ※設けない
7 保険	受注者は工事事務物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている積立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
8 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
9 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する(契約金額による) ・ 適用しない
10 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない 完成図書の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表(名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。 県営住宅の完成図書の提出部数は、A3 2つ折り製本4部とする。
11 発生材処理	引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事・別途) (1) 引渡しを要するもの() (2) 買取処分を要するもの(銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの(蛍光管) 蛍光管等は再生資源化施設等に搬出し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物() ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

- 12 金属電線管の塗装 露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。
壁等の壁は、既存壁及び別途工事の壁との整合を極力図るものとする。
- 13 鍵
- 14 地中電線路

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管種別
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)

(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートは図面特記による。
(3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面(舗装する部分では路盤材下面)から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

- 15 回路の種別 行先の表示
- 16 電線の接続

湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

- 17 電線管の接続 屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

- 18 接地工事 漏電遮断等で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色・緑又は緑・色帯で区別する。

- 19 建設発生土の処理 埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・構外搬出適切処理する。

- 20 再生砂・再生アスコン 契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の穴径クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

- 21 耐震施工 設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)を参考とする。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
(1) 設計用水平地震力 機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
屋上及び塔屋	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・配電盤 ・ 発電装置(防災用) ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
・ 交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
(2) 設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

- 2.2 あと施工アンカー 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

- 2.3 はつり及びあと施工アンカー打設 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄粉、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

- 2.4 改修部分の足場 本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種(枠組足場)・B種・C種・D種・E種・F種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に準じ、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
- 2.5 墜落制止用器具 (フルハーネス型) ※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(平成30年6月22日付け基発0622第2号)による
・使用を要しない

- 2.6 アスベスト事前調査結果の報告 全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
- 2.7 電気保安技術者 (a) 受注者は、電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
(b) 電気保安技術者は、次による者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料を監督員に提出して承諾を受ける。
(1) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者、一級電気工事施工監理士又はこれと同等の知識及び経験を有する者。
(2) 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者。
(c) 電気保安技術者は、監理技術者、主任技術者、現場代理人が兼任できる。
(d) 電気保安技術者は、監督員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行う。
(e) 電気主任技術者を別途配置している電気工作物に係る工事においては、電気主任技術者及び監督員と協議し保安業務に支障がないよう努める。
(a) 受注者は、工所用電力設備の保安責任者として、関係法令に基づき、有資格者を定め、監督員に報告する。
(b) 保安責任者は、前項2.5の電気保安技術者が兼任できる。
(c) 保安責任者は、適切な保安業務を行う。
(1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作物を監督員に提出し、承諾後製作する。
(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
(4) 本工事にかかる官公庁への随手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
(6) 改修工事等を行う場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
(9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)

項目	特記事項
1 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、2口コンセントは横式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。 ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができ。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新設工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継柱 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継柱を使用する。ただし、ボード張りで、ボード表面と塗りしろカバーの間に離れないように施工した場合は、継柱を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルところがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
2 動力設備	(1) 動力制御盤及び閉開閉器の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 雷保護設備	受雷部突針はLR1とする。
4 受変電設備	高圧引込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端部はシースずれ防止対策を施す。 (端処理 ・ 耐塩用 ・ 一般用) 受電電圧 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 柱上高圧気中 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 負荷開閉器(PAS) 主遮断装置 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 変圧器設備容量 動力用 kVA× 台 電灯用 kVA× 台 高圧進相コンデンサ kVar× 台 直列リアクトル ・ 6% ・ 1.3% kVar× 台
5 構内情報通信設備	ネットワーク機器を壁内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置

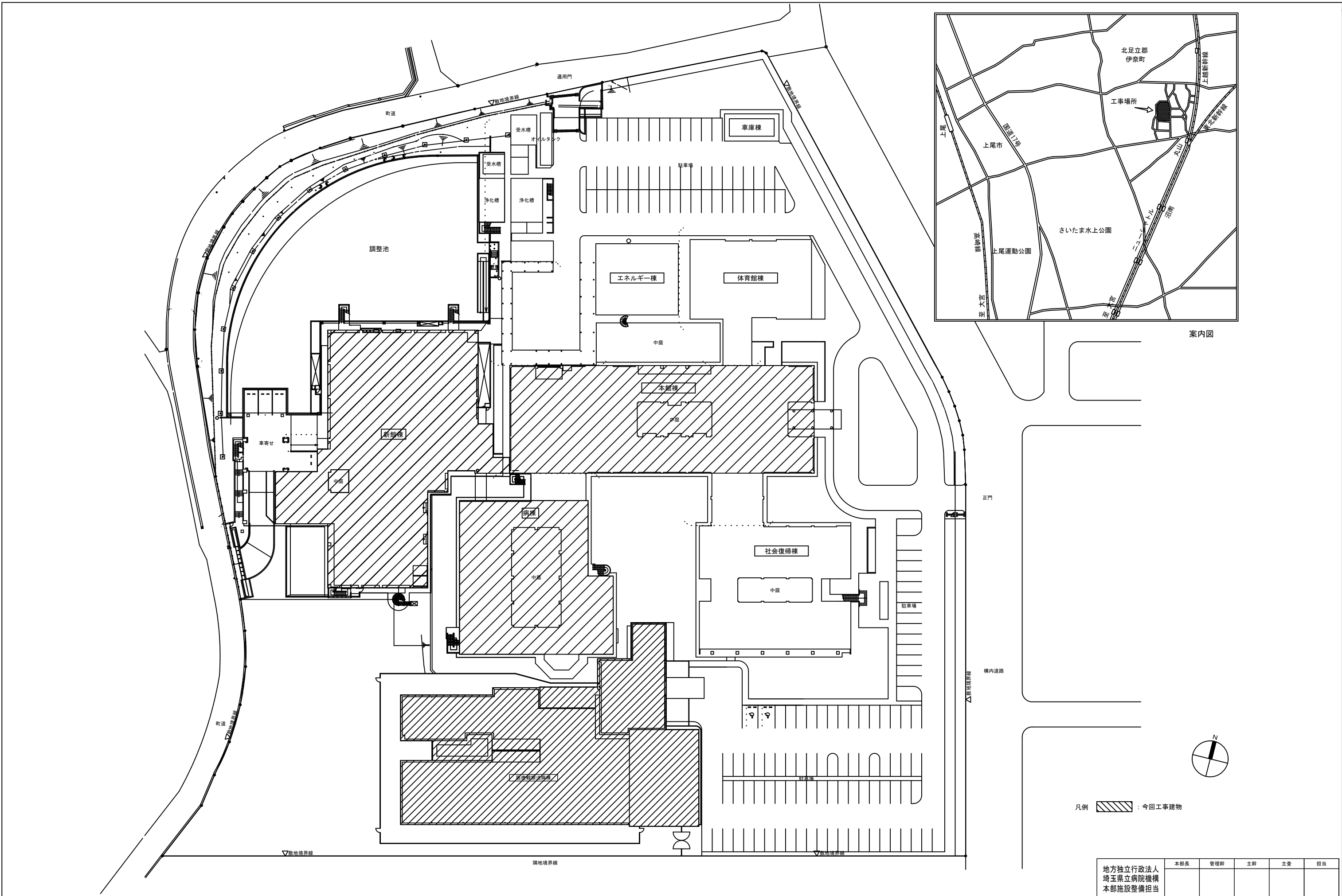
項目	特記事項
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱供給(コージェネレーション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備(非常放送設備)	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ 壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ(一般)	床上~中心	1,300	1,200
"(身体障害者用)	"	1,100	1,000
"(人感センサー切換用)	"	2,000	2,000
コネクタ、電話用770Vト、直列ユニット	"	300	400
"(和室)	"	150	200
"(台上)	台上~中心	150	500
防水型コンセント	床上~中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	"	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン(身体障害者用)	"	900	900
復帰ボタン()	"	1,800	1,800
廊下表示灯()	"	2,000	2,000
端子盤	"	(上端1,900以下)1,500	2,000

3 その他

- 3.1 他工事との取合区分 発注図又は工事区分表による。
- 3.2 図面上の縮尺 図面上の縮尺は、JIS A1版とし縮尺とする。
- 3.3 疑義 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。



設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1:1/400 A3:1/800	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報設備・放送設備 配置図・案内図	E-02

緊急通報設備特記仕様書

1. 緊急通報設備概要

本システムは、埼玉県立精神医療センター向け医療従事者用の緊急通報設備システムである。

緊急通報設備からの信号を放送設備と連動することで院内で従事するスタッフの安全を確保し円滑な業務遂行を支援するためのシステムとする。

本システムは、緊急通報設備と放送設備で構成される。

2. 緊急通報設備

(1) 設置場所：病室および病室廊下、外来、手術室

ア. IoTゲートウェイ（以下、受信機とする）

医療従事者、もしくは据置している発信機からの電波を受信する装置。院内の各所に設置され、要求エリアでの受信を可能とする。

イ. フラッシュライト（以下、表示灯とする）

第7病棟、第6病棟の保護室に設置された受信機に接続する。発信機からの通報時にコントローラからの制御信号によって点灯を行う。

(2) 発信機

ア. 通報するためのボタンが分かりやすく配置され、適度なクリック感がある。

イ. 発信、および押したことがわかるボタン部の表示灯および鳴動機能がある。

ウ. 通報ボタンとは異なる箇所に通報復旧用のボタンが配置されている。

エ. 電池交換を促すための鳴動とボタン部の点滅機能がある。

オ. 電池交換が容易に行え、市販品の乾電池が使用できる。

カ. ストラップ取付穴、ベルトクリップがあり、携帯性を配慮した筐体である。

キ. 誤報防止用として、ボタン押下時間を変更できます。0. 0 3秒と2秒の選択です。

(3) 設置場所：病棟スタッフステーション、1F事務室、1F守衛室

ア. IoTコントローラ（以下、コントローラとする）

各所に設置された受信機を監視し、かつ受信機からの通報データを含めた各種データの受信を行う。

イ. ナースコール制御機（以下、制御機とする）

コントローラと連動し、コントローラからの送出される通報信号の受信、処理を行う。

ウ. 液晶表示式親機（以下、親機とする）

制御機が受信した通報信号をディスプレイ部に表示を行う。

表示内容：通報種別（例：緊急通報）

場所名（例：第一処置室）

各発信機に紐づけた4桁番号（例：0601）

エ. 管理用パソコン（以下、PCとする）

WEBブラウザを利用し、任意のIPアドレスにアクセスすることで各コントローラに接続し、状態確認などが行える。また、受信機の接続状態も管理できる。

オ. POEHUB（以下、HUBとする）

緊急通報設備を構成する各製品はIPネットワーク上でデータ通信を行う。各製品からのケーブルを集約し、ネットワークを構築する装置

(4) 設置場所：1FEPS

ア. 基幹HUB/POEHUB（以下、HUBとする）

緊急通報設備を構成する各製品はIPネットワーク上でデータ通信を行う。各製品からのケーブルを集約し、ネットワークを構築する装置

イ. LAN接続型デジタルI/Oユニット（以下、デジタルI/Oとする）

コントローラと放送設備を連動させるための機器。各製品からのケーブルを集約し、ネットワークを構築する装置。

(5) その他

ア. 発信機のボタンを押下すると親機に通報が発生します。

この時、デジタルI/Oを介して放送設備側の接点制御を行い、予め設定してある定型文放送が院内（病棟ステーション）で発生します。

イ. 発信機の電池容量が低下した際、交換を促すため親機に通報が発生します。なお、この通報による放送設備との連動はありません。

ウ. 受信機が何かしらの原因でネットワークから孤立、切断された際、その受信機は受信できないことを知らせるため、親機に通報が発生します。なお、この通報による放送設備との連動はありません

エ. ネットワークの冗長化、基幹HUBの電源冗長、UPSなどを導入し、ネットワークの堅牢を確保しています。

オ. 病棟の医療従事者が携帯している発信機は外来、手術室で使用することができます。

カ. 保有するリモートメンテナンスのサービスを利用できます。（別途有償）

【要求仕様】

		更新前	更新後		
1	警報履歴確認	警報履歴	○	○	警報履歴を確認できます。日時・刑法の種類・発信機ID・発信機名称・受信機ID・受信機名称(ゾーン名称)
		電波強度表示	○	×	警報を受信した受信機は、3台まで表示され、電波強度が強いID1に表示される。受信機ID1(電波強度"強")……受信機ID3(電波強度"弱")
		警報ゾーン画面表示	○	△	発信機のボタンが押された場所を表す画面が表示され、押されたゾーンが点滅します。(最新の警報のみ表示)
		警報処理	○	—	警報場所の確認後、処理をするための機能。履歴画面と文字色を更新します。
2	発信確認テスト	発信確認	○	○	専用のテスト画面にて、タグ毎の発信確認テストを行うことができます。テスト中は、警報が外部に伝達されません。使用中のタグも確認することができます。
		発信確認結果	○	○	日時・発信機ID・発信機名称・テスト結果が表示されます。テスト結果は、4種類表示されます。(OK/電池低下/再試験/無表示)
		発信確認テスト履歴	○	○	過去に発信確認テストを行った履歴を参照することができます。(1年間保証)
3	発信機登録	発信済発信機確認	○	○	現在登録されている発信機を確認することができます。登録日・発信機ID・発信機名称・手動警報・電池低下警報・不動警報・不動時間
		発信機追加	○	○	新しい発信機を追加することができます。最大40台まで。
		発信機削除	○	○	登録されている発信機を削除することができます。
		発信機追加削除履歴	○	×	発信機の追加・削除の履歴を参照することができます。(1年間保証)
4	設定	パスワード	○	○	設定変更画面へ行くためのパスワード。設定を変更する場合は、パスワードの入力が必要です。
		システム設定	○	○	履歴画面設定・シリアルポート設定・パスワード設定を行うことができます。
		受信機確認 (ベースユニット・リーダー)	○	○	現在登録されている受信機(ベースユニット・リーダー)を確認することができます。登録日・発信機ID・受信機名称・ゾーン無応答警報時間
		受信機追加	○	○	新しい受信機を追加することができます。最大**台まで
		受信機削除	○	○	登録されている発信機を削除することができます。
		発信機追加削除履歴	○	×	発信機の追加・削除を参照することができます。
		警報設定	○	○	各警報の設定を行うことができます。(番号・警報種類・ボケベル転送・PO画面表示・PC警報音)
		送信確認(ログ確認)	○	○	発信機からの送信履歴をそのままだけに確認することができます。
		発信機確認	×	—	発信機を腕につけたときに、正常に動作しているかを確認できる画面。腕につける機能がないため
5	警報の種類	手動警報	○	○	発信機のボタンが押されたときに警報を鳴らします
		不動警報	△	—	定時送信での不動警報は可能。現システムと意味合いが少し違います
		バッテリー不足警報	○	○	発信機のバッテリーが不足した時に警報を鳴らします
		受信機応答機能	○	○	受信機から一定時間応答がない時に警報を鳴らします
		受信機OK	○	—	無反応受信機から受信を受けたときに発生します。
		受信機ネットワーク故障	○	○	ケーブル類の異常がみられる場合に警報を鳴らします
		受信機ネットワークOK	○	○	受信機ネットワークが改善されたときに発生します。
		バッテリーテスト通報	○	—	テスト中にバッテリー不足している場合に警報を鳴らします

【機器一覧（参考）】

埼玉県立精神医療センター 緊急通報システム更新	本層1F	本層2F	新層1F	新層2F	新層3F	病棟2F	病棟3F	既設機庫1F	既設機庫2F	計
ナースコール設備										
液晶表示式親機 (B2D-01EX)	1		2	1	1	1	1	2		9
ナースコール制御機 (B2M-001EX)			1	1	1	1	1	1		6
非常用電源装置750VA (オムロン社製 BL75T)										2
非常用電源装置1000VA (オムロン社製 BL100T)										4
LAN I/Oユニット (LA-3R2P) + 電源装置(ED-201)			6							6
IoTコントローラ (TLM-001)			1	1	1	1	1	1		6
IoTゲートウェイ (TRX-302GE) + PoEスプリッタ(PoE-ZR30ATG)	18	2	9	34	42	16	16	34	6	177
PoEハブ 24ポート						1	1			2
PoEハブ 48ポート								1		5
基幹ハブ 24ポートX2			1							1
無線押しボタン (RB-101TX)										144
管理用ノートPC	2									2
フラッシュライト					9			16		25

※型番は参考とする。

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : N/S A3 : N/S	2 3 精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報装置設備 機器仕様書（機器仕様書）（改修後）	E-03

液晶表示式親機 BZD-01EX

形状/材質/質量	卓上・壁掛兼用形/樹脂製/約1.2kg
液晶表示部	3.5インチ TFTカラー液晶
呼出表示	液晶表示
履歴表示	50件 (発着優先)
呼出音	電子メロディー (16種) 又はチャイム音 (3種) / ノレモロ音 (3種)
一斉放送	全一斉と逐局一斉 (逐局外一斉放送可)、チーム一斉
ハンディナースコール設定	担当設定、チーム設定 (最大4チーム)、転送設定、アラーム設定
備考	セキュリティ機能、プライベートトーク機能 個別音量調整機能、夜間自動音量調整機能
電源	AC-DC100V 50/60Hz
消費電力	最大12W (待機時3.5W)
オプション	受話器衝突音防止センサー、受話器落下防止ストッパー スマイルミラー

ナースコール制御機 BZM-001EX

形状	壁掛形
親機制御台数	最大5台 (バカラ制御)
通話路数	5通話路 (同室同時通話可能)
1/台ユニット・個別動作制御台数	最大25台
電源・消費電力	AC-DC100V 50/60Hz・最大230W
備考	

非常電源装置 750VA BL75T

非常電源装置 1000VA BL100T

(オムロン社製)

寸法	140×330×167mm (BL75T) 155×330×167mm (BL100T)
容量	750VA/60W (BL75T) / 1000VA/90W (BL100T)
出力電圧 (バックアップ運転時)	AC100V±3%
出力電流	正弦波 4分以上 (周囲温度25℃ 初期特設、定格負荷の場合)
出力コンセント	NEMA 5-15R×6個 / NEMA 5-15R×6個
インタフェース	RS-232C又はUSB
入力最大電流	12A / 15A

I/Oコントローラー TLM-001

形状	壁掛形
材質	カバー、ケース: AES樹脂 シヤーン: 鋼板製
質量	約1.2kg
電源	AC-DC100V 50/60Hz、最大3W (待機時2.5W)

I/Oゲートウェイ TRX-302GW

PoEスプリッタ PoE-ZR30ATG

形状/材質/質量	卓上・壁掛兼用形/樹脂製/約1.2kg
液晶表示部	3.5インチ TFTカラー液晶
呼出表示	液晶表示
履歴表示	50件 (発着優先)
呼出音	電子メロディー (16種) 又はチャイム音 (3種) / ノレモロ音 (3種)
一斉放送	全一斉と逐局一斉 (逐局外一斉放送可)、チーム一斉
ハンディナースコール設定	担当設定、チーム設定 (最大4チーム)、転送設定、アラーム設定
備考	セキュリティ機能、プライベートトーク機能 個別音量調整機能、夜間自動音量調整機能
電源	AC-DC100V 50/60Hz
消費電力	最大12W (待機時3.5W)
オプション	受話器衝突音防止センサー、受話器落下防止ストッパー スマイルミラー

I/Oゲートウェイ

メタルコンセント	天井 (推奨) / 壁面
材質	本体: ABS樹脂 壁掛ブラケット: PC+ABS樹脂
入力電源	制御機より給電 (DC36V) または、 電源装置より給電 (DC24V)
消費電力	最大2W

PoEスプリッタ

出力電源	DC13/12/9/5V
入力電源	DC32V~63V
適合LANケーブル	カテゴリ5e/6以上 4対ストレートUTP/STPケーブル
伝送距離	最長100m (50m/ルーターから接続機器までのLANケーブルの長さ)
適合規格	PoE 規格: IEEE802.3af/at LAN 規格: IEEE802.3(10BASE-T), IEEE802.3a(100BASE-TX), IEEE802.3ab(100BASE-T)

LAN I/Oユニット LA-3R2P

定格制御電圧	AC250V / DC30V (5A 種) / DC110V (0.3A 種)
最大負荷電流	5A / 1点 (抵抗負荷) / 15A / 3点合計 (抵抗負荷)
最小適用負荷	DC100mW 100W+0085A
出力回路	リレー接点 (1a) 出力 3点
入力回路	フォトカプラ絶縁入力 2点
定格入力電圧	DC12 ~ 24V
入力インピーダンス	4.7k Ω (5mA/24V)

電源装置 ED-201

電源装置 (フラッシュライト用) ED-201

形状	卓上・壁掛兼用形 (JIS2種用スイッチボックスカバー付)
材質	鋼板製
電源	AC-DC100V 50/60Hz

PoEハブ (24ポート) GA-ML24TCPoE+

動作環境	温度: 0℃~50℃ 湿度: 20~80%RH (結露なきこと)
適合規制 (電磁放射)	VCCI CLASS A
電源仕様	電源電圧 AC100V 50/60Hz
ケース材料	SECC

PoEハブ (48ポート) GA-ML48TCPoE+

動作環境	温度: 0℃~50℃ 湿度: 20~80%RH (結露なきこと)
適合規制 (電磁放射)	VCCI CLASS A
電源仕様	電源電圧 AC100V 50/60Hz
ケース材料	SECC

基幹ハブ (24ポートX2) Z EQUO4600DL

ポート数	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tx24 SFP+拡張ポート x4
電源 (消費電力)	AC100V、50/60Hz (電源1個使用時: 最大2.5W/最小1.1W) (電源2個使用時: 最大2.0W/最小1.2W)
動作環境温度	0~50℃ (SFP+スロットを使用しない場合)
質量	4.1Kg
機能	802.3u、フロッグスイッチ、StaticIP、STP、VLAN、QoS、リンクアグリゲーション 802.3ad、Teaming、SSH、ACL、DHCPサーバ、DHCPクライアント、 SNTP、リンクプロテクト、LACP、VRRP、RSTP、STP、IGMP Snooping、 IGMP Proxy、IGMP Snooping、MLD Snooping、IGMP Proxy
備考	電源コード用ブロック、1.9インチラックマウント金具同梱

収納キャビネット ※EPS (1F) 設置 THD30-6565

形式	屋内用
ボデー	鋼板t0.8 t1.6 (左側板t0.8)
ドア	ドア、右ドア: 鋼板t0.8

管理用ノートPC CPC-VKT12HGG6453

参考図

CPU	インテル Core i5
メモリ	4GB
ハードディスク	250GB SSD
ディスプレイ	12.5型 ワイドFHD液晶

無線押ボタン RB-101TX

材質	PC+ABS樹脂
呼出ボタン	ノンロック式
ID登録ボタン	ノンロック式
質量	約50g (ストラップは含まず)
電源	DC3.0V (単4形アルカリ電池 2個)
表示灯	呼出ボタン押下時: 呼出ボタン緑色点滅 電池電圧低下時: 呼出ボタン赤色点滅

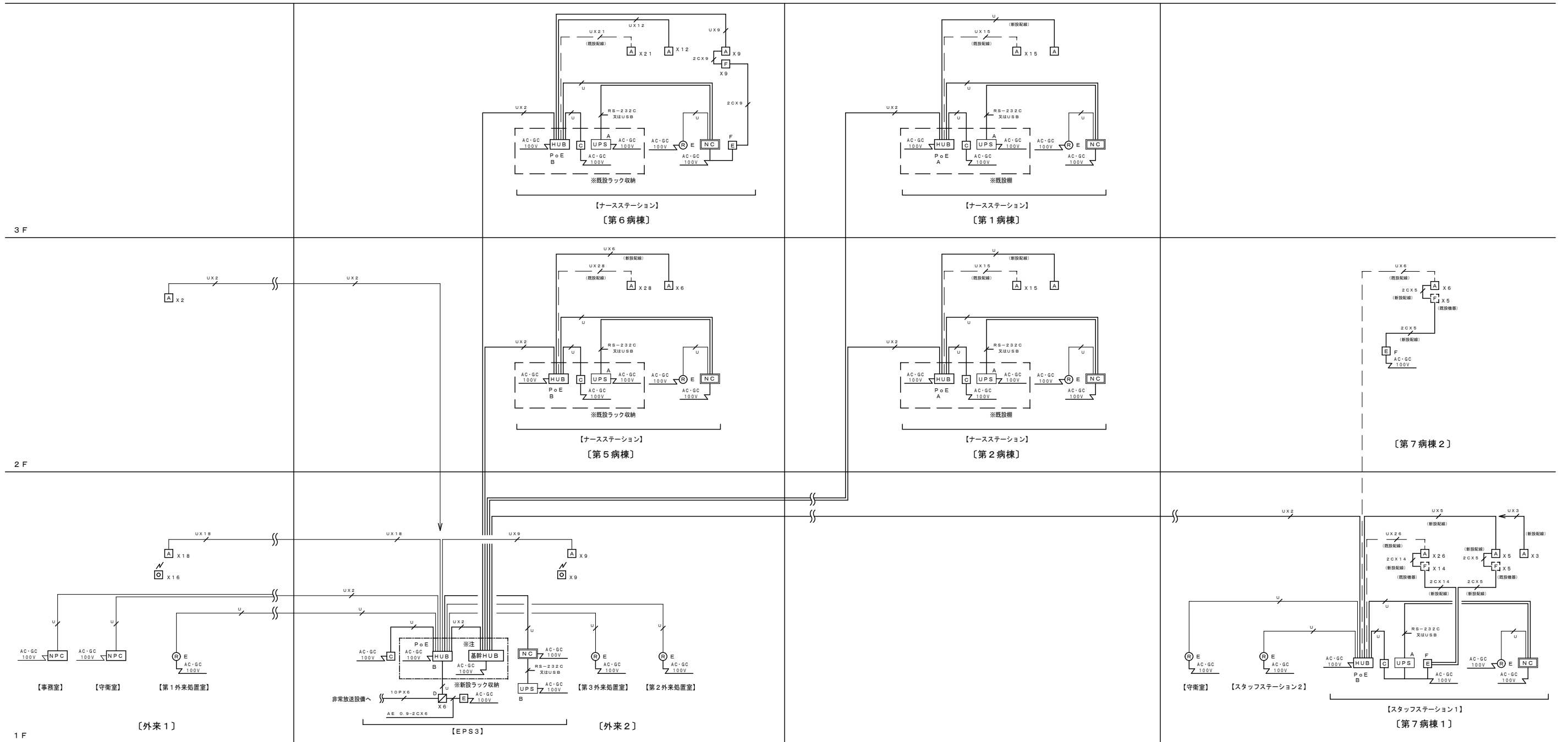
フラッシュライト LF-12R

フラッシュライト ※既存機器 (再利用)

機器名	F (LEDフラッシュライト)
寸法	123×75×96 (mm)
入力	DC12~24V

※型番は参考とする。

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------------	-----	-----	----	----	----



本館棟

新館棟

病棟

医療観察病棟

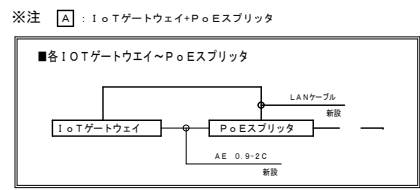
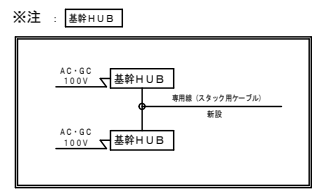
凡例

記号	名称	備考	記号	名称	備考
ⓂE	液晶表示式観機		□/	無線押ボタン	
□NC	ナースコール制御機		□HUB P o E A	P o Eハブ (24ポート)	
□UPS A	非常電源装置750VA		□HUB P o E B	P o Eハブ (48ポート)	
□UPS B	非常電源装置1000VA		□基幹HUB	P o Eハブ (24ポートX2)	
□C	I o Tコントローラー		□NPC	管理用ノートPC	
□A	I o Tゲートウェイ+P o Eスプリッタ		□F	フラッシュライト	
□D	LAN I / Oユニット		□E F	電源装置 (フラッシュライト用)	
□E	電源装置				

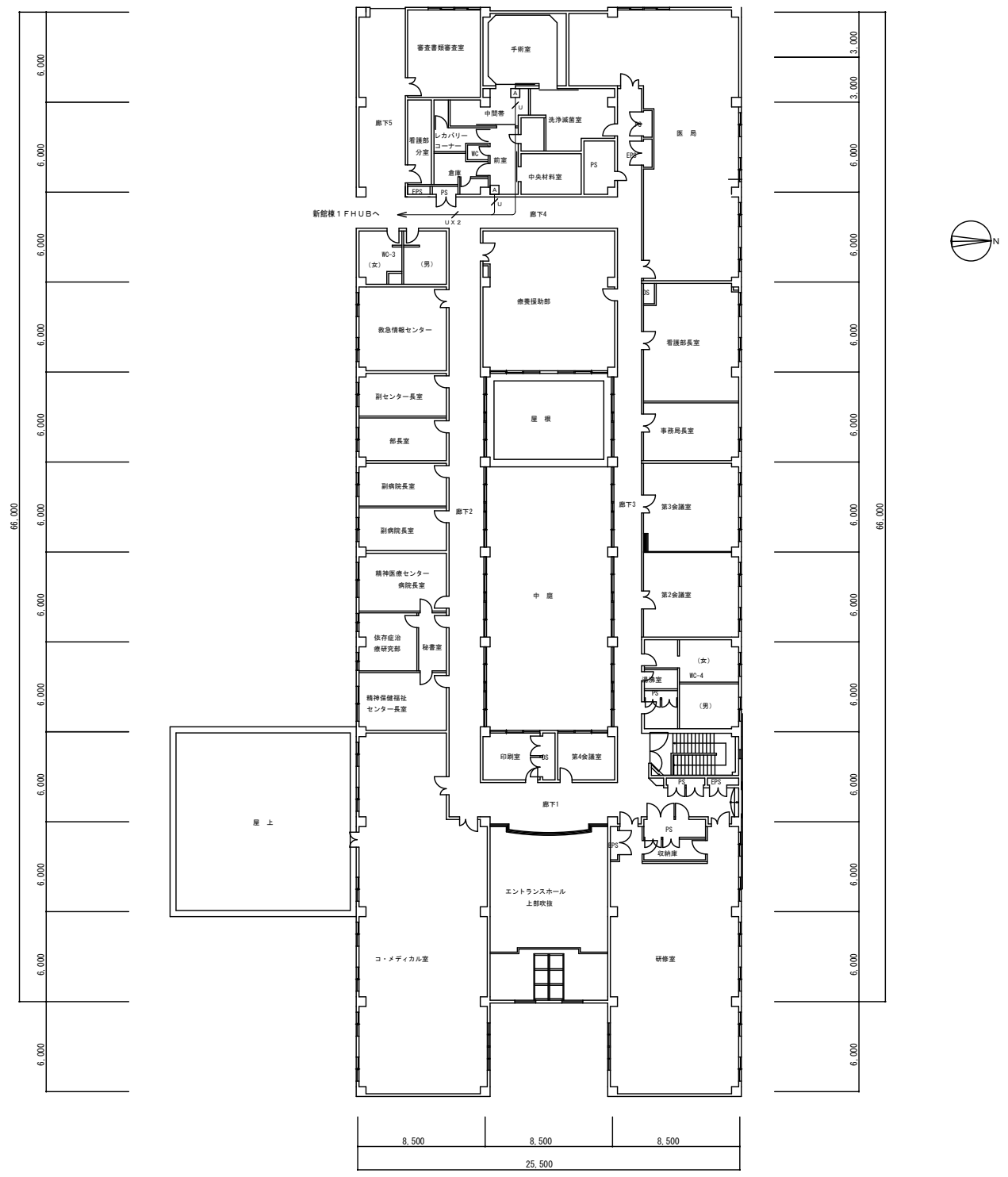
注記

特記なき配管配線は下記による

- UTPケーブル 0.5-4P CAT5e (PF22)
- 新設配線 天井内こがし
- 既設配線 ※再利用



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------------	-----	-----	----	----	----

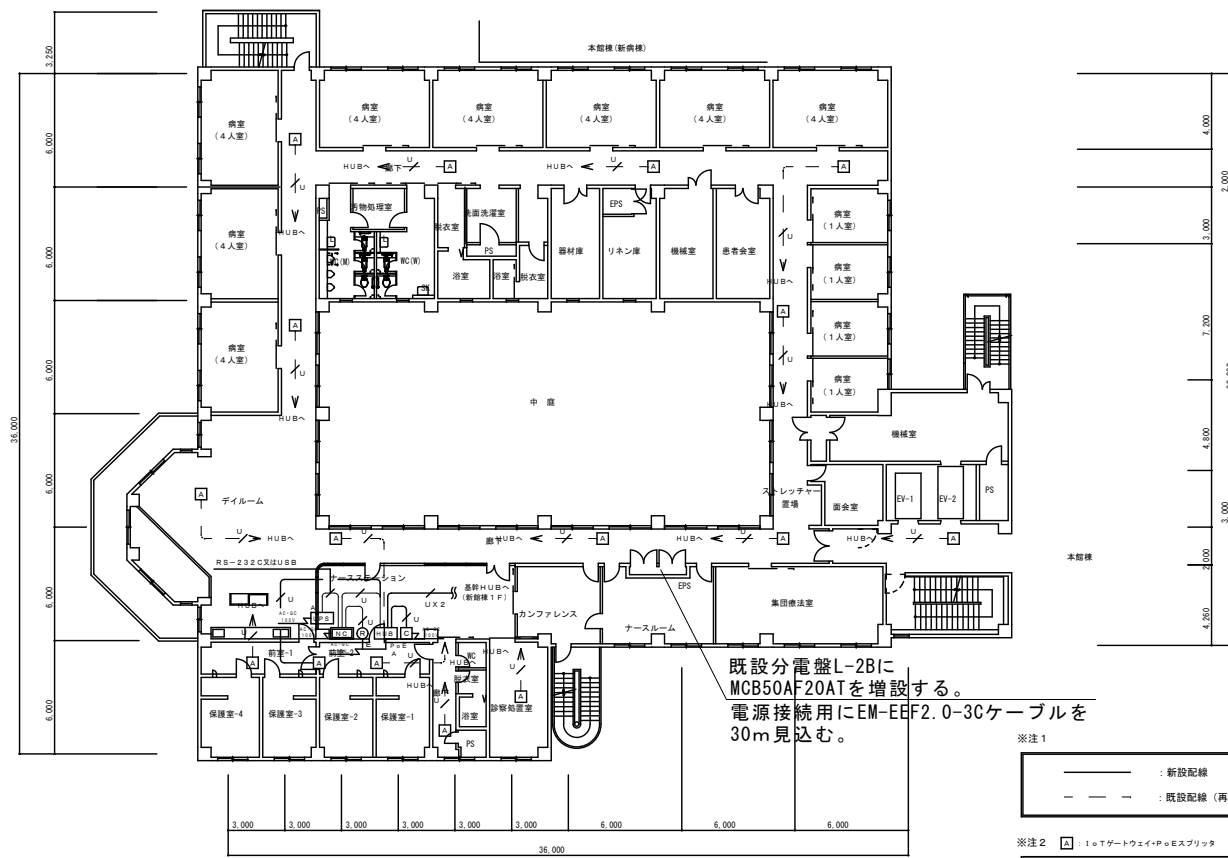


本館 2階平面図 S=1/200

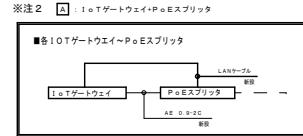
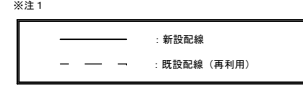
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

	設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
								A1 : 1/200 A3 : 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報設備 本館棟 2階平面図(改修後)	E-07

36,000							
4,000	2,000	6,000	6,000	6,000	6,000	3,000	3,000



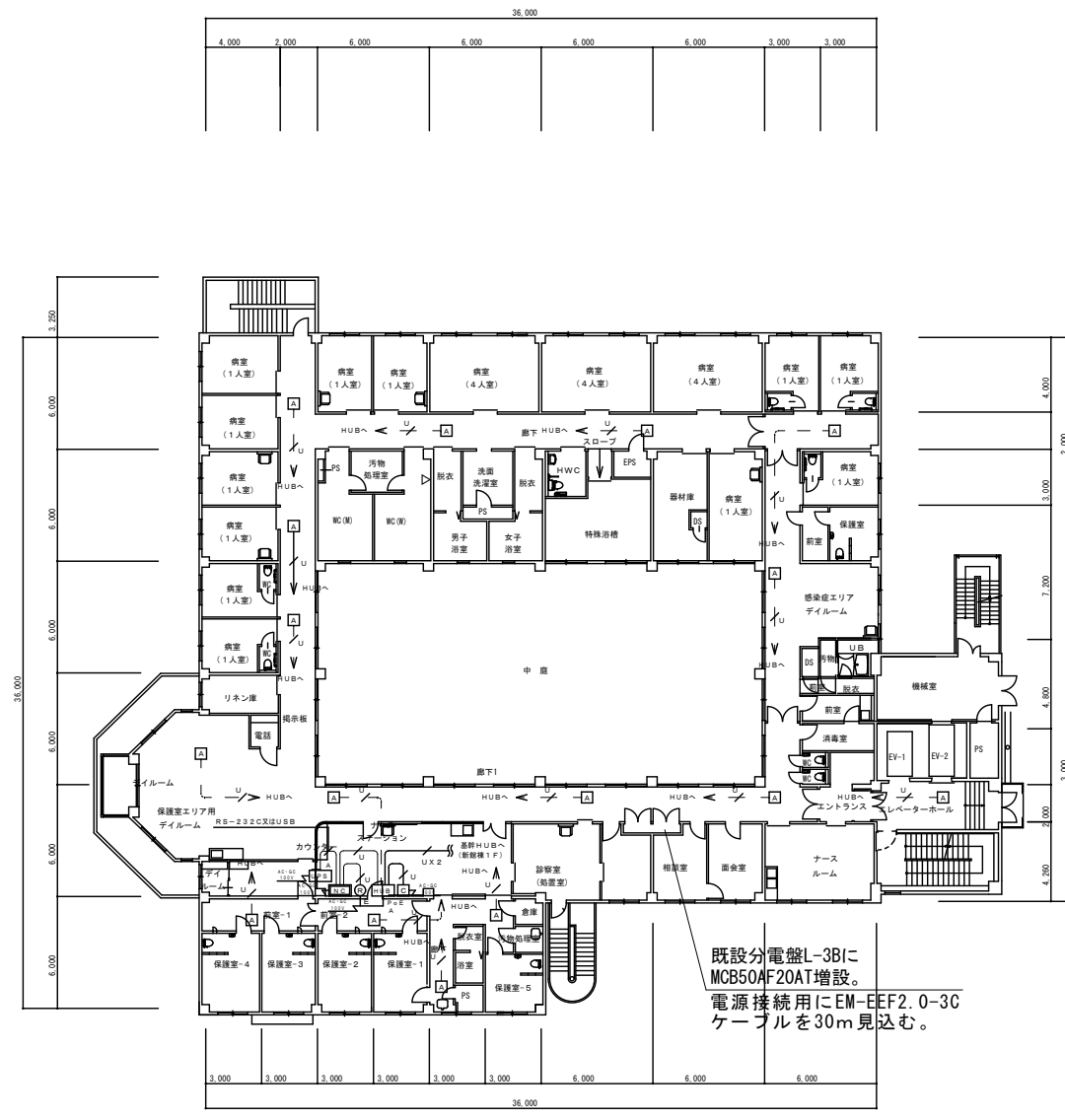
2階平面図 S=1/200



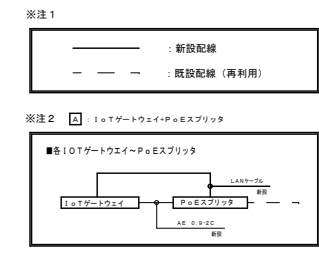
第2病棟

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : 1/200 A3 : 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報設備 病棟 2階平面図 (改修後)	E-08



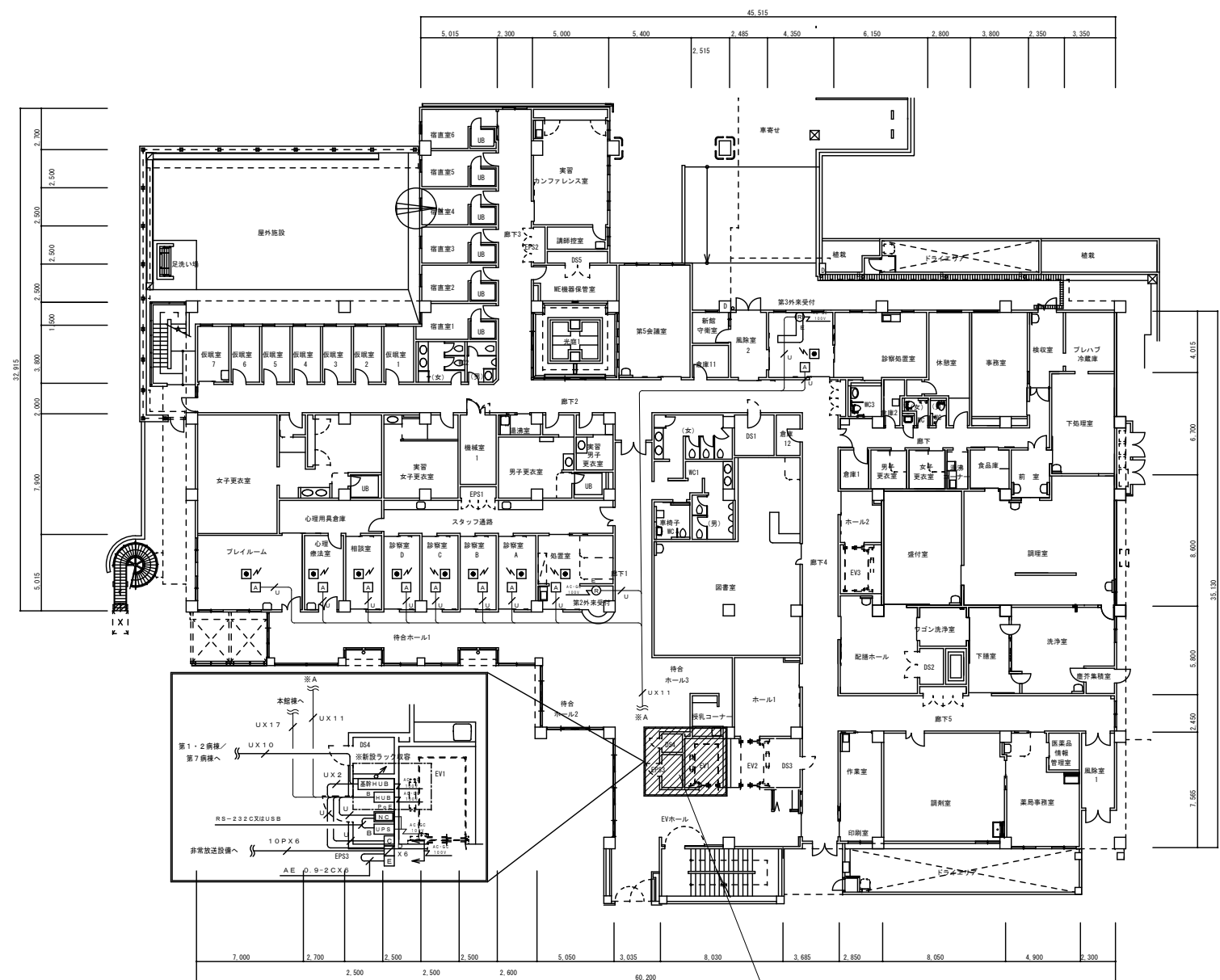
3階平面図 S=1/200



第1病棟

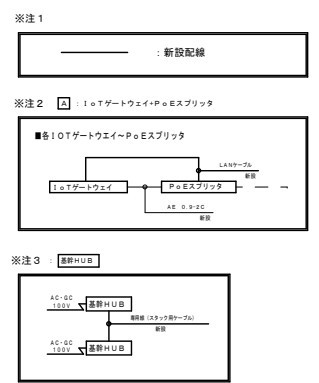
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : 1/200 A3 : 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報設備 本館棟 3階平面図 (改修後)	E-09



1 階平面図 S=1/200

既設分電盤L-1-1に
MCB50AF20AT増設
電源接続用にEM-EEF2.0-3C
ケーブルを30m見込む。

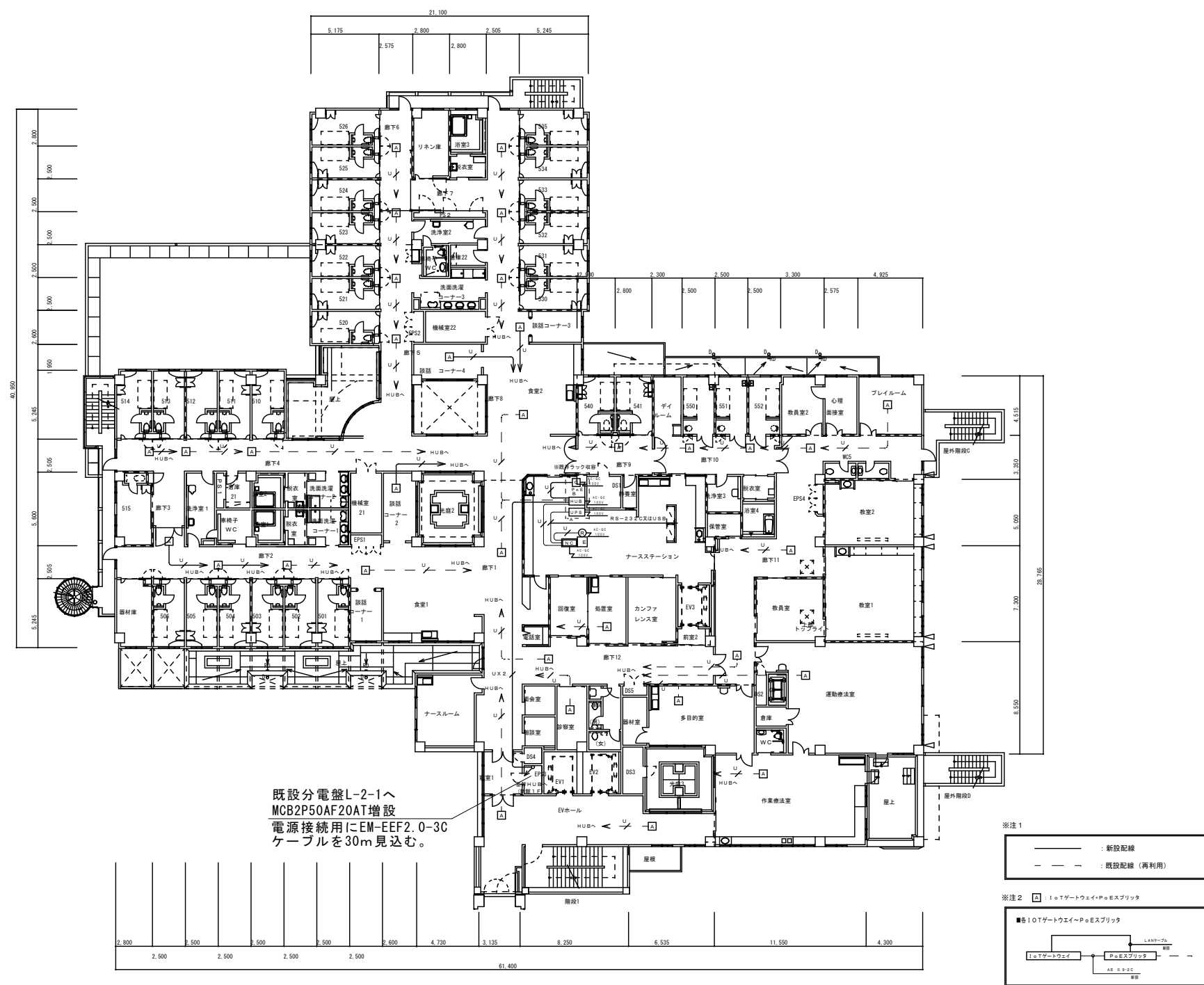


本館棟(病棟)

外来2

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : 1/200 A3 : 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報設備 新館棟 1階平面図(改修後)	E-10



既設分電盤L-2-1へ
MCB2P50AF20AT増設
電源接続用にEM-EEF2.0-3C
ケーブルを30m見込む。

2階平面図 S=1/200

第5病棟



本図様(病棟)

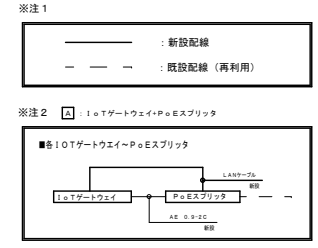
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------------	-----	-----	----	----	----

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図番
							A1: 1/200 A3: 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報設備 新館棟 2階平面図(改修後)	E-11



既設分電盤L-3-1へ
MCB50AF20AT増設。
電源接続用にEM-EEF2.0-3C
ケーブルを30m見込む。

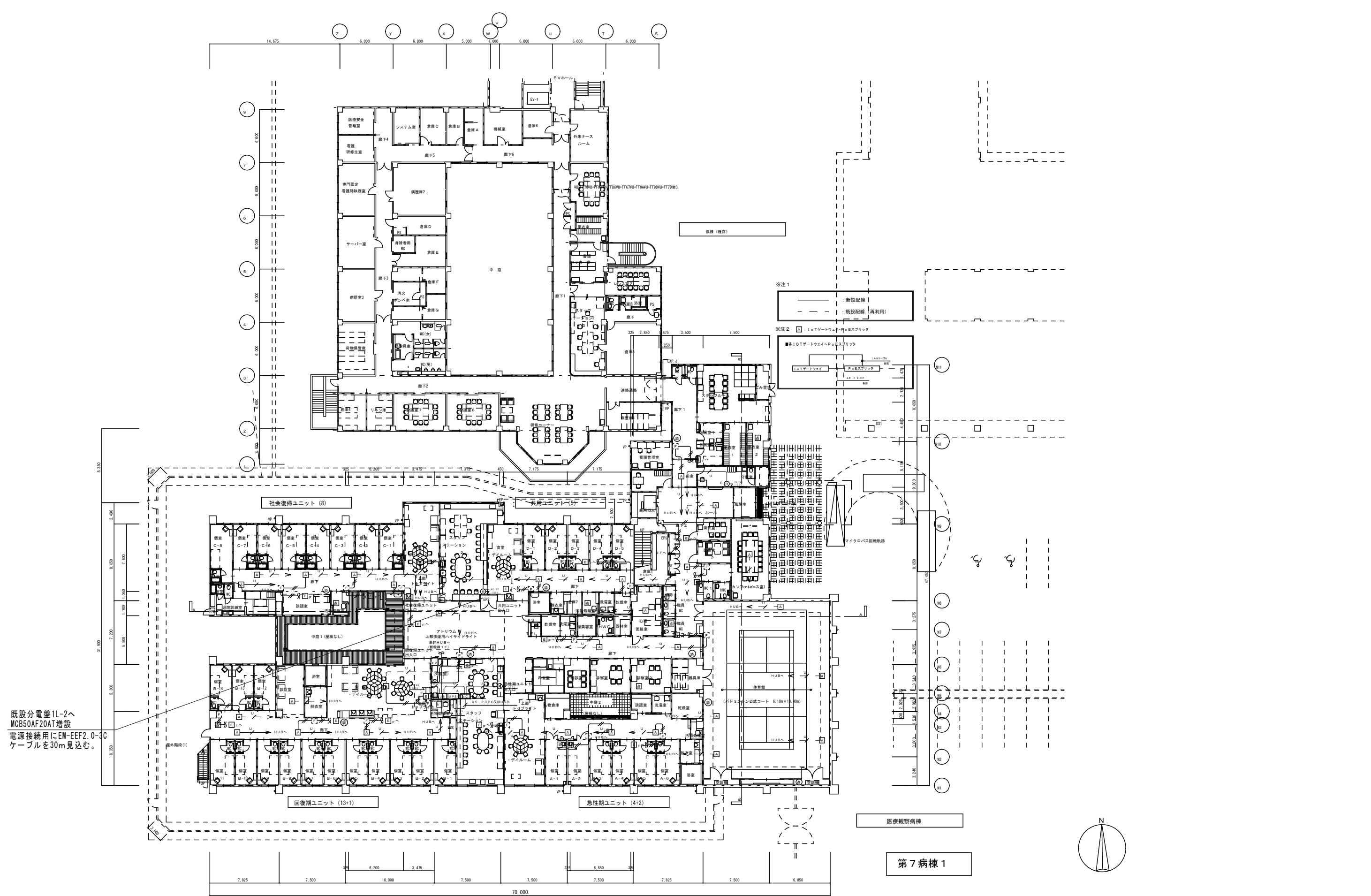
3階平面図 S=1/200



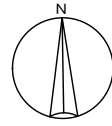
第6病棟

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : 1/200 A3 : 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報設備 新館棟 3階平面図 (改修後)	E-12

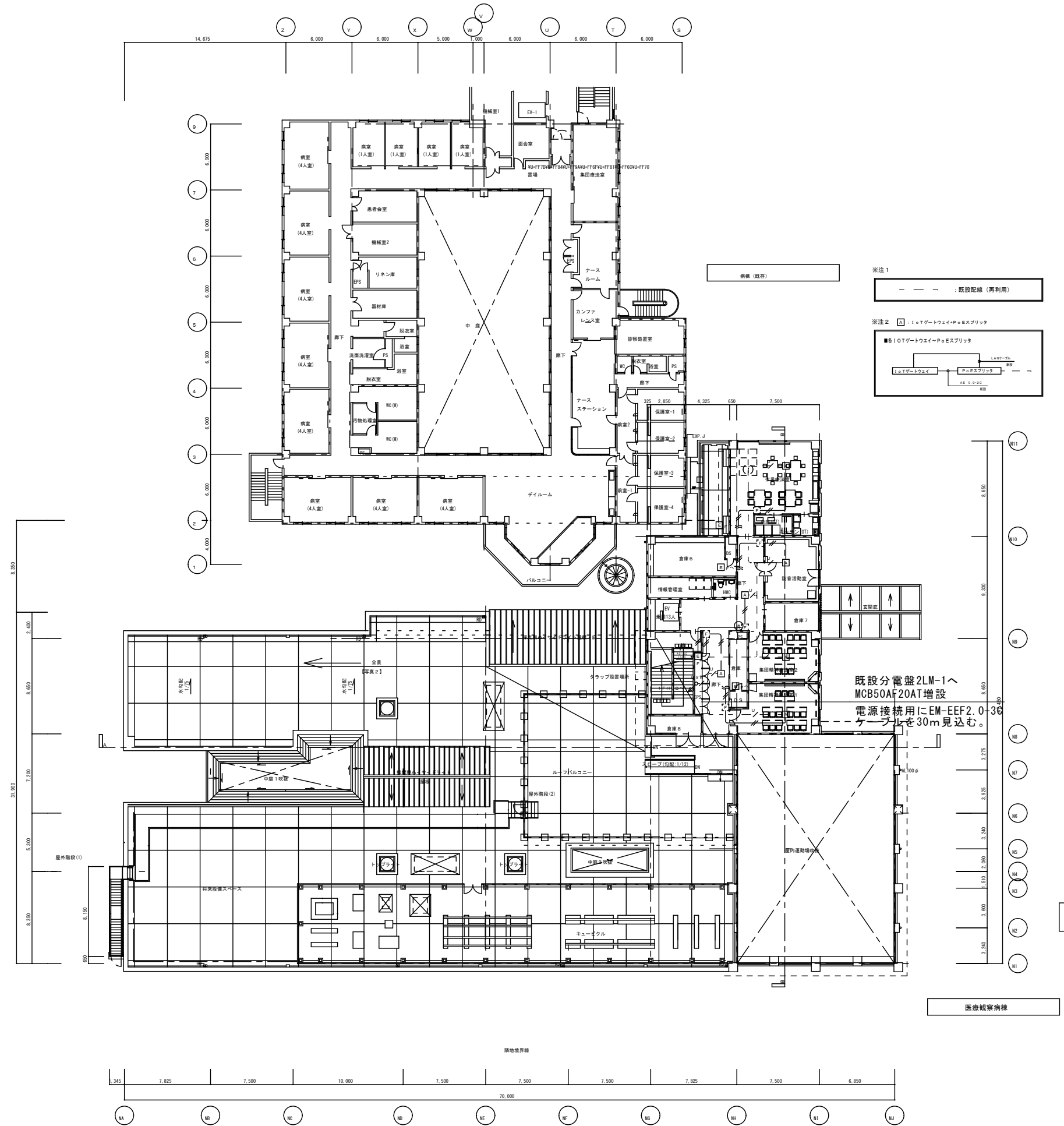


第7病棟1



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : 1/200 A3 : 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報設備 医療観察病棟 1階平面図 (改修後)	E-13



第7病棟2

医療観察病棟

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : 1/200 A3 : 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	緊急通報設備 医療観察病棟2階平面図	E-14

非常放送設備特記仕様書

1. 非常放送設備概要

本設備は840W、40局のラック型非常用放送設備である。また、緊急通報設備からの信号を放送設備と連動することで院内で従事するスタッフの安全を確保し円滑な業務遂行を支援するためのシステムとする。本システムは、緊急通報設備と放送設備で構成される。

2. 非常用放送設備

(1) ラック型非常用放送設備

(a) 仕様内容

- ・非常放送に優先して、緊急地震速報受信端末に連動した緊急地震放送が行えること。 停電時も、非常放送用のニカド電池を使用して緊急地震放送を行えること。
- ・音声警報による自動放送のメッセージは「日本語のみ」「二か国語（日本語+ 英語）」に中国語、韓国語を付加した「三か国語」「四か国語」の切り換えが可能。 （日本語、英語、中国語、韓国語が搭載された認定評価品であること）。
- ・自動火災報知設備に連動して出火階および直上階または全館に感知器発報放送、火災放送などの音声警報による自動放送が可能。
- ・非常時には内蔵の音源データと液晶画面による操作方法を指示するオペレーションガイド機能により、自動放送と組み合わせて更に確実な非常放送を行えること。
- ・内蔵のニカド電池によって、停電時でも10分以上連続して非常放送が可能。
- ・スピーカー回線が短絡した場合は、速やかにラインを切り離し、同時に短絡回線の表示を行うこと。
- ・スピーカー1回線当たり、最大360Wまで供給可能。
- ・通常一斉放送スイッチ、緊急一斉放送スイッチの2つの一斉スイッチにより、放送内容に応じて通常一斉放送と緊急一斉放送が可能。
- ・自由に設定可能な3つのファンクションスイッチを有し、緊急放送や通常放送に使用するEV放送の機能の割り当てが可能。
- ・EV放送を制御入力に割り当てることで、接点での放送の開始が可能。
- ・液晶画面での表示により、簡単な操作で非常放送出火階、連動階などの各種設定が可能。また、液晶画面上で故障などの異常の内容や動作の履歴の表示が可能。
- ・非常用リモコンが最大16台まで接続できること。
- ・業務用リモコンが最大8台まで接続できること。
- ・ラックおよびユニットの追加により、最大25入力、25系統出力の業務放送マトリクスに対応可能。
- ・総合点検モードの搭載により、非常断24Vを遮断することなく、点検を行えること。また、スピーカーから音を出さずに非常放送の動作チェックを行えること。
- ・点検用の音源を内蔵しており、その音源により放送点検が可能。別途、設定支援ソフトで点検用の音源の書き換えが可能。
- ・点検音声入力を備えており、任意の音源で放送点検が可能。
- ・自己診断機能および1日1回のシステム自動点検機能を搭載していること。
- ・付属のSDカードやLAN接続により、各種設定内容や履歴データの読み出しや転送が可能。
- ・履歴が30000件まで記録可能。

(3) デジタルアナウンスマシン

(a) 仕様内容

- ・本機は、マイクや演奏機器などを接続して録音した内容や、別途用意した音源データを再生放送する。
- ・パソコンとのネットワーク接続により本機の設定、音源の書き換えができること。
- ・緊急時に簡単な操作で録音・繰り返し再生ができること。
- ・付属のメモリーカードに収録しているプリセット音源* 2により、チャイムなどを放送できること。
- ・録音した文節を組み合わせてプログラムとして再生できること。
- ・プログラムに優先度を設定できること。
- ・特注インターフェース追加により256接点まで入力可能であること。

(4) 設置場所：本館1F守衛室、新館1F守衛室

(a) 本館1F守衛室：非常放送設備本体架

(b) 新館1F守衛室：非常用リモコン

(5) 緊急通報設備との連動

(a) 仕様内容

- ・緊急通報設備より接点信号を受信すると、院内放送をかけることができる。
 - ・各接点端子に院内放送時の定型文を登録できる。
 - ・院内放送はナースステーションなど特定箇所でのみの放送にすることが可能である。
- ※スピーカ設置箇所、スピーカ配線などの条件あり。
- ・各病棟、外来の1フロアを5分刻までエリア分けができ、エリアごとに院内放送の定型文を設定できる。
 - ・緊急通報設備の点検など、一時的に院内放送をかけたくない場合はアンボリュームを絞ることで制御できる。
- この際、接点制御がされたことを目視確認できる。

(b) 既設スピーカーでの鳴動範囲の変更を含む。

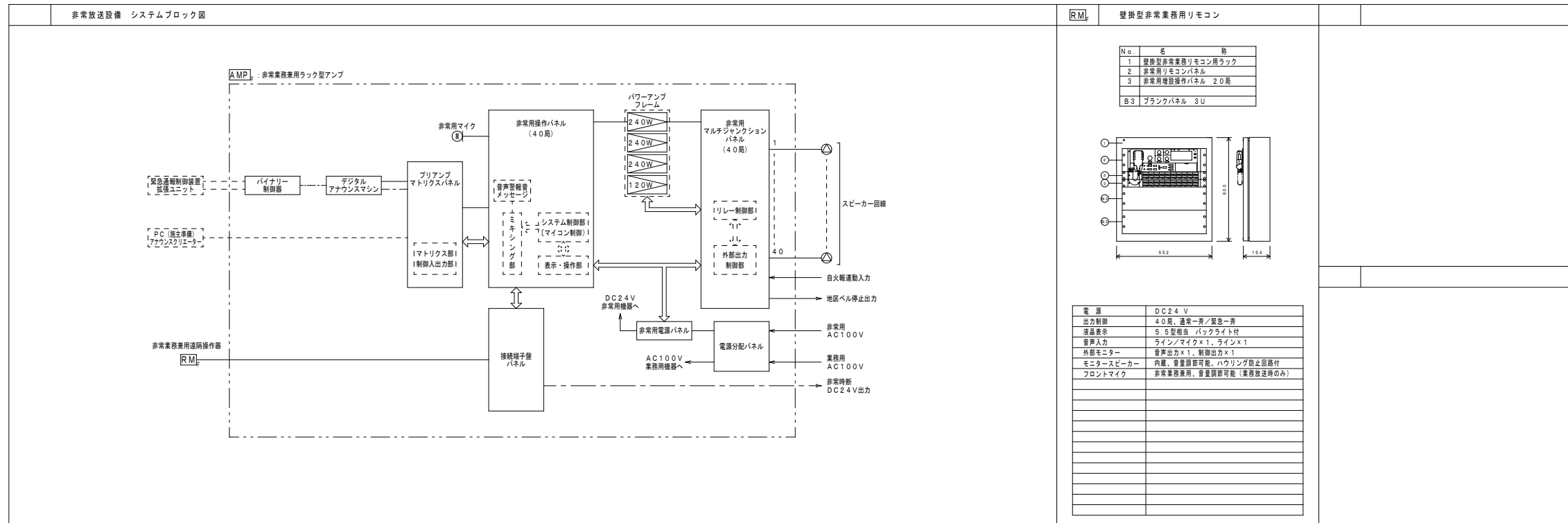
【機器一覧(参考)】

機器一覧(参考)

埼玉県立精神医療センター 緊急通報システム更新	本館1F守衛室	新館1F守衛室	新館2F	新館3F	病棟2F	病棟3F	医健調整1F	医健調整2F	計
ラック型非常用放送設備									
キャビネットラック 41U	1								1
非常用操作パネル	1								1
非常用増設操作パネル 20局	2								2
プリアンプマトリクスパネル	1								1
パワーアンプフレーム	1								1
デジタルパワーアンプモジュール120W	1								1
デジタルパワーアンプモジュール240W	3								3
非常用電源パネル	1								1
ニカド電池24V 3500mAh/5HR	1								1
ニカド電池24V 6000mAh/5HR	1								1
非常用マルチジャンクションパネル20局	2								2
電源分配パネル	1								1
接続端子盤パネル	1								1
デジタルアナウンスマシン	1								1
ラックマウント金具	1								1
EV-700用インターフェース	1								1
FS-2500説明書一式	1								1
引出パネル 2U	1								1
通気パネル 1U	3								3
通気パネル 2U	1								1
ブランクパネル 3U	2								2
非常用リモコン									
キャビネットラック		1							1
非常用リモコンパネル		1							1
非常用増設操作パネル 20局		2							2
ブランクパネル 3U		2							2

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

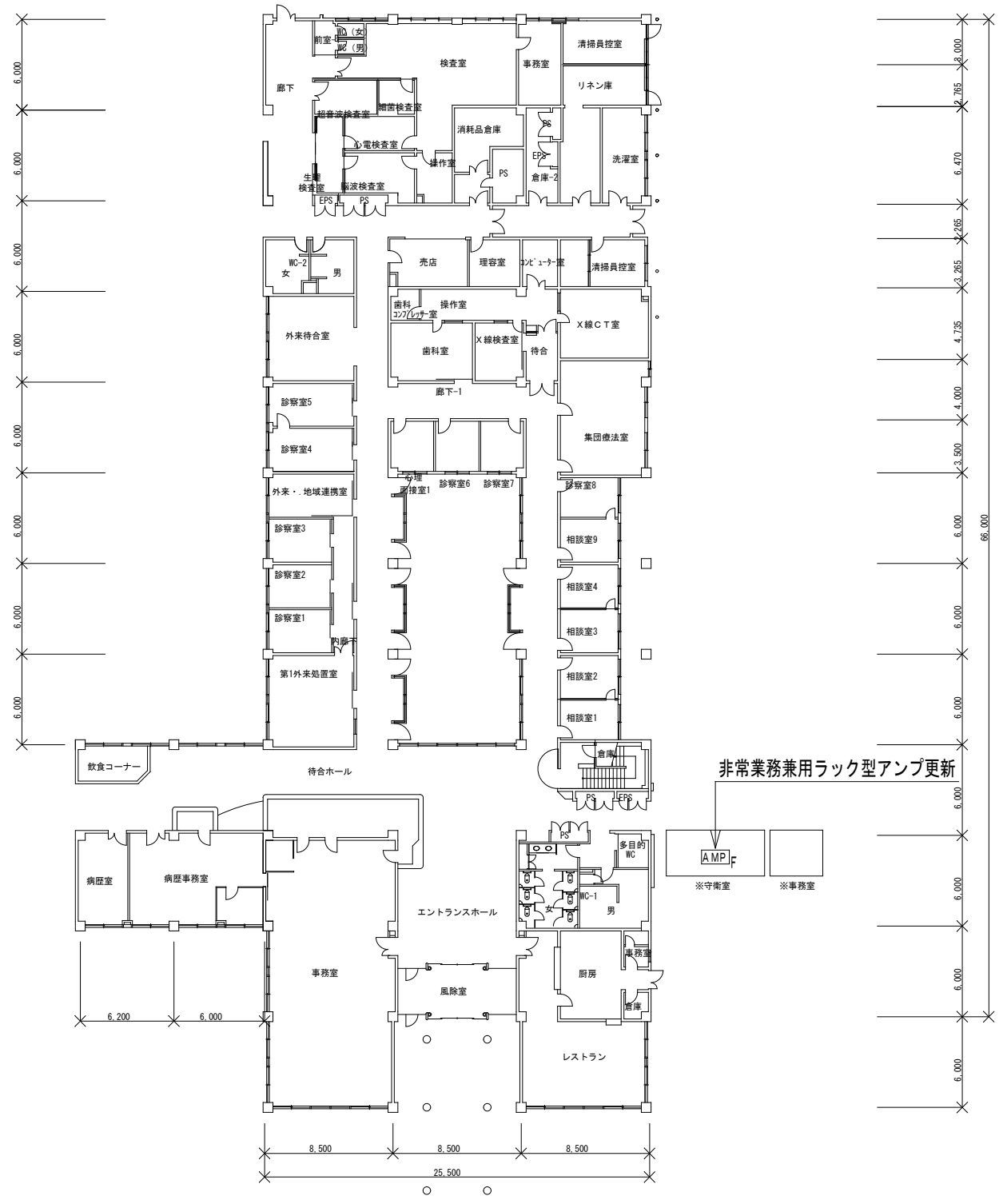
	設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
								A1 : N/S A3 : N/S	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	放送設備 機器仕様書（改修後）	E-15



既設AMPメーカー/TOA

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------------	-----	-----	----	----	----

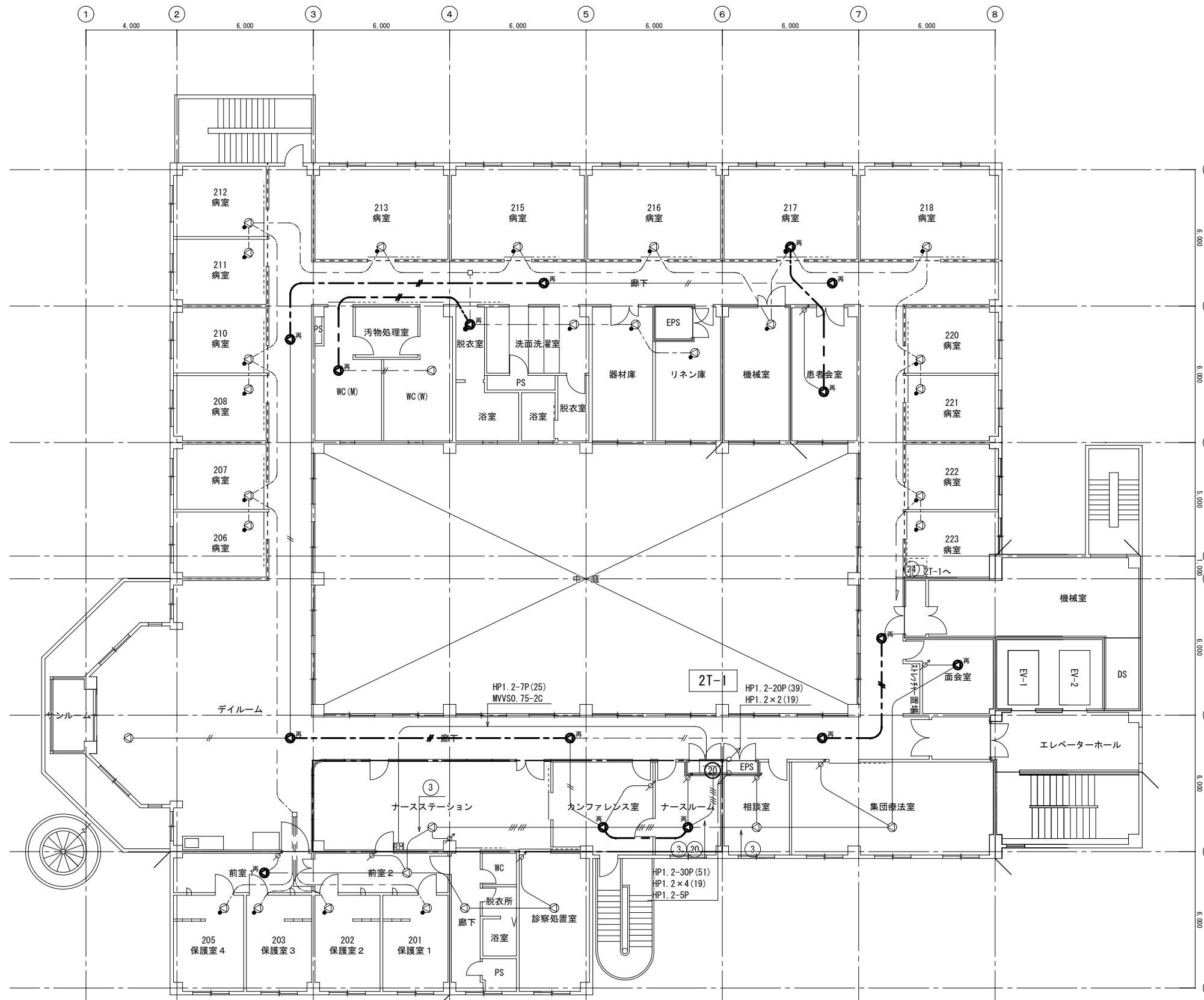
設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1: N/S A3: N/S	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	放送設備 システムブロック図・機器姿図(改修後)	E-16



本館 1階平面図 S=1/200

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

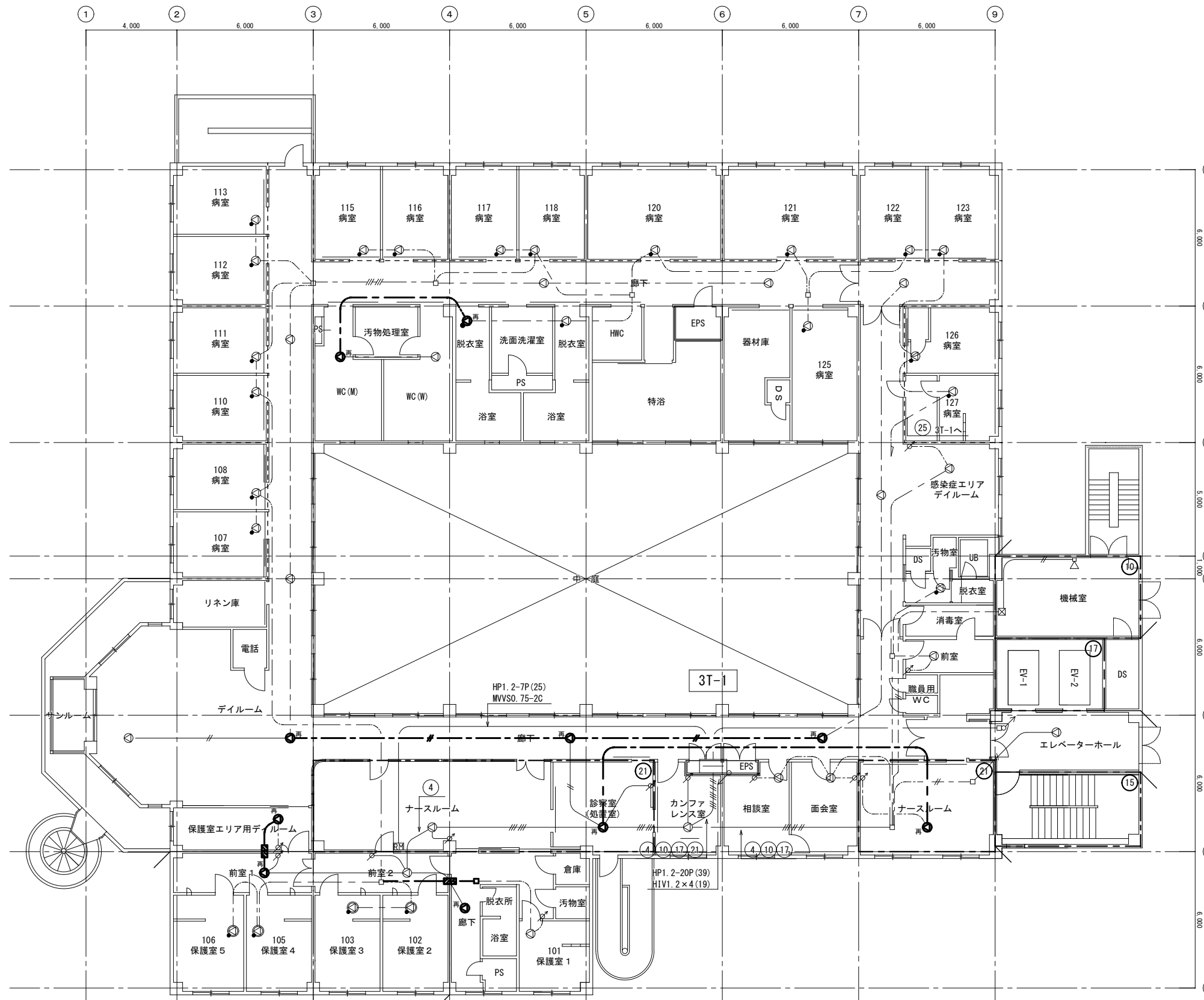
設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1: 1/200 A3: 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	放送設備 本館棟 1階平面図(改修後)	E-17



- 配線凡例**
- #— HIV1.2×2(19) 管内
 - #— HIV1.2×3(19) 管内
 - ###— HIV1.2×6(19) 管内
 - #— HP1.2-2C コロガシ
 - #— HP1.2-3C コロガシ
 - 防火区画貫通処理
- 細線は既存残置、太線は新設とする
- 機器凡例**
- ⊙ 天井スピーカ 天井埋込形
 - ⊙ 天井スピーカ 天井埋込形 ATT付
 - ⊙ 天井スピーカ 天井露出形 ATT付
 - ⊙ アンテナ
 - ジャンクションボックス
- 細線は既存残置、太線は新設とする
傍記「再」は取外し再取付とする

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------------	-----	-----	----	----	----

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1: 1/100 A3: 1/200	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	放送設備 病棟 2階平面図(改修後)	E-18

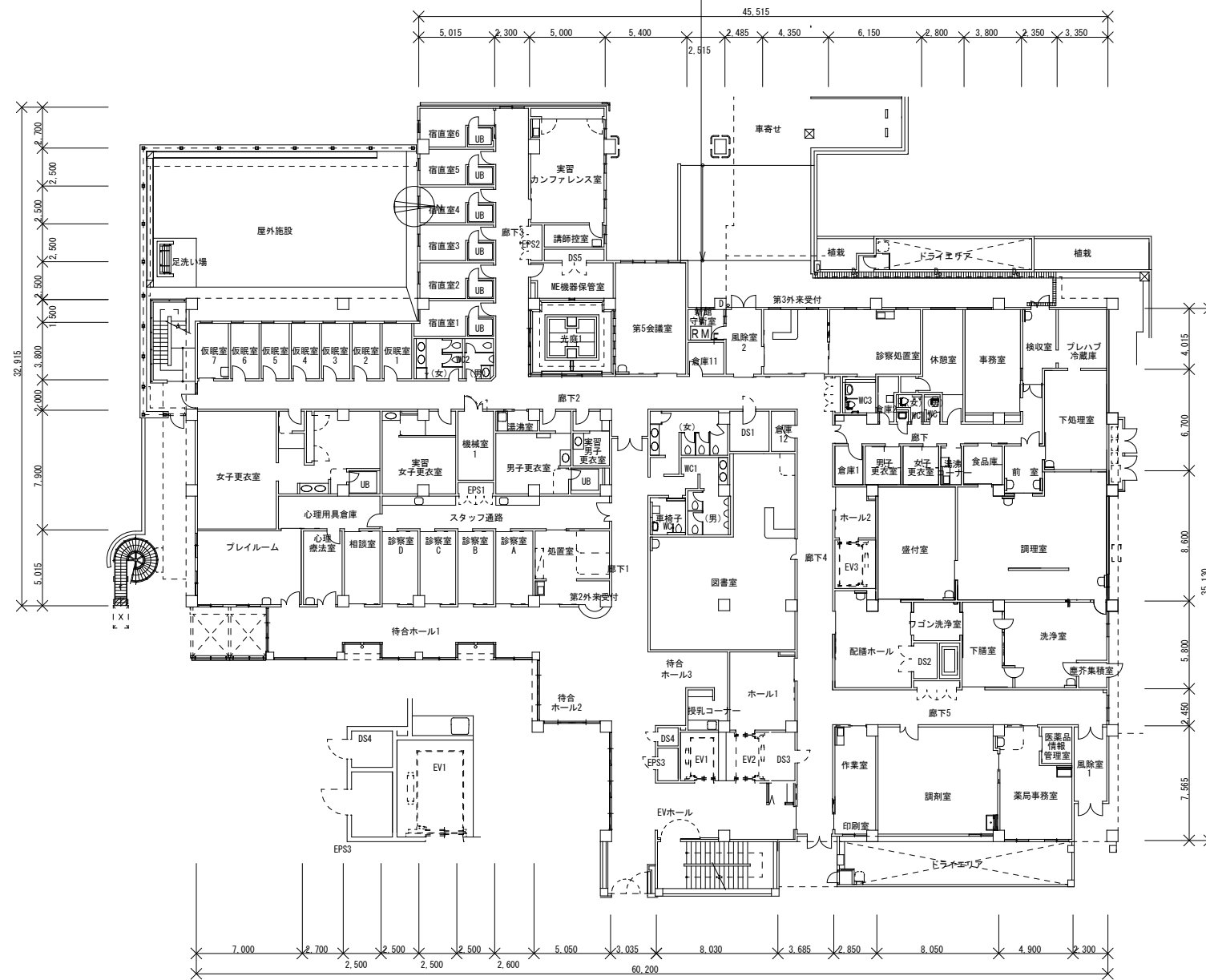


- 配線凡例**
- #— HIV1.2×2(19) 管内
 - #— HIV1.2×3(19) 管内
 - #/#— HIV1.2×6(19) 管内
 - #— HP1.2-2C コロガシ
 - #— HP1.2-3C コロガシ
 - #/#— 防火区画貫通処理
- 細線は既存残置、太線は新設とする
- 機器凡例**
- ⊙ 天井スピーカ 天井埋込形
 - ⊙ 天井スピーカ 天井埋込形 ATT付
 - ⊙ 天井スピーカ 天井露出形 ATT付
 - ⊙ アンテナ
 - ジャンクションボックス
- 細線は既存残置、太線は新設とする
傍記「再」は取外し再取付とする

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1: 1/100 A3: 1/200	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	放送設備 病棟 3階平面図 (改修後)	E-19

壁掛型非常業務用リモコン更新



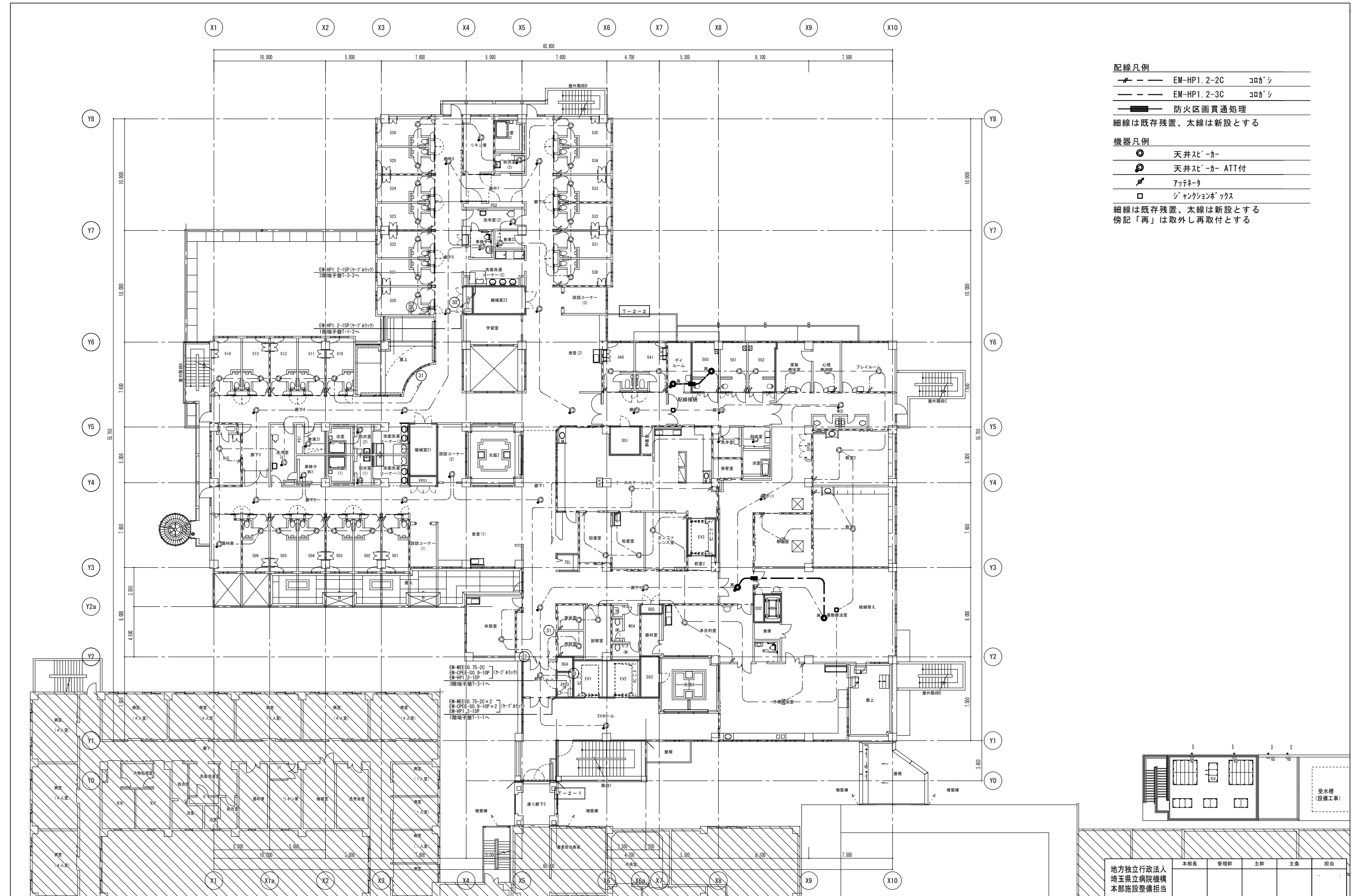
1 階 平 面 図 S=1/200

本館棟(病棟)

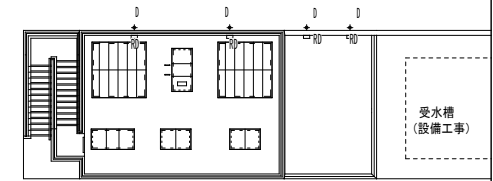


地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1: 1/200 A3: 1/400	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	放送設備 新館棟 1階平面図(改修後)	E-20

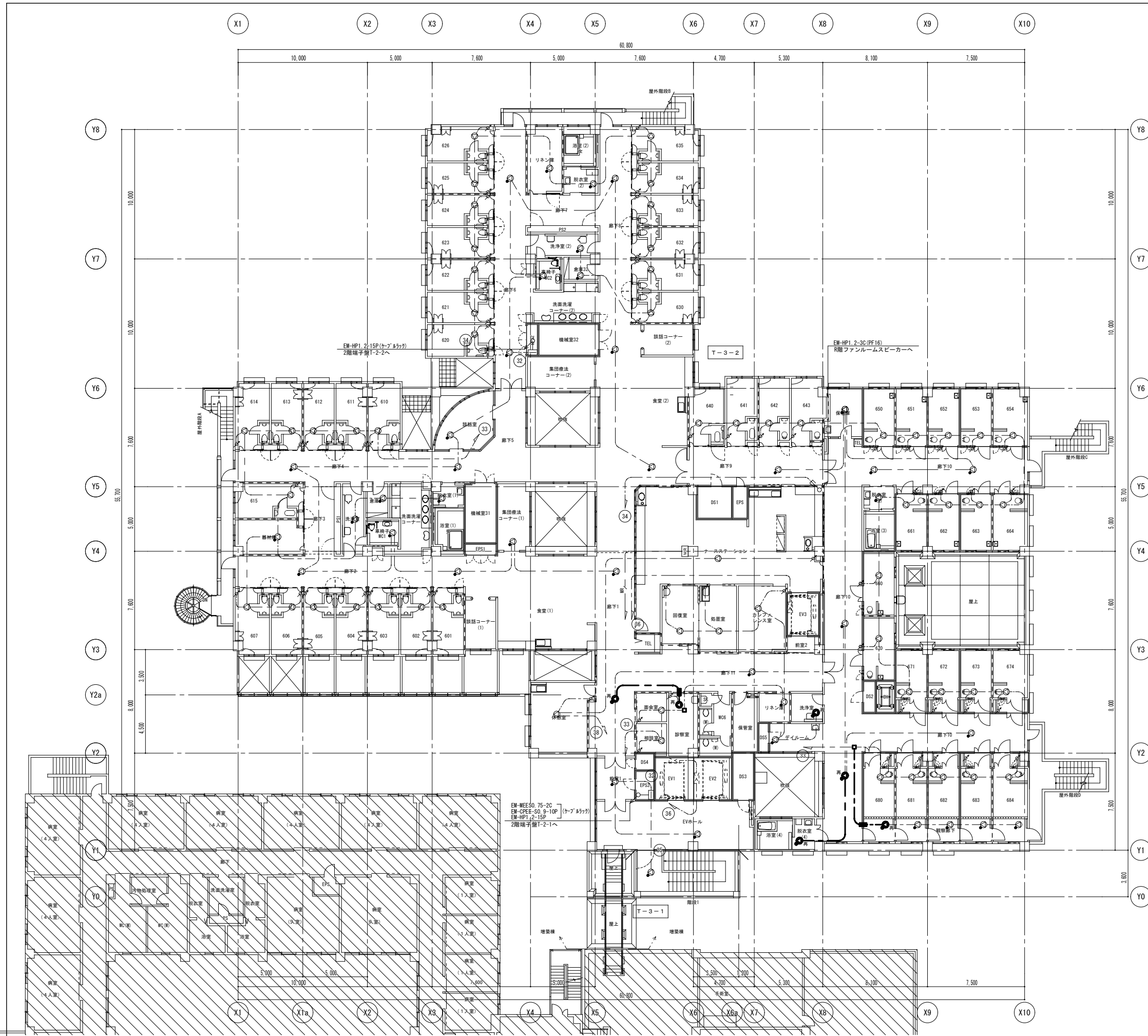


- 配線凡例**
- EM-HP1.2-2C コロガシ
 - EM-HP1.2-3C コロガシ
 - 防火区画貫通処理
- 細線は既存残置、太線は新設とする
- 機器凡例**
- ⊙ 天井スピーカー
 - ⊙ 天井スピーカー ATT付
 - ⊙ アッテネータ
 - ジャンクションボックス
- 細線は既存残置、太線は新設とする
傍記「再」は取外し再取付とする

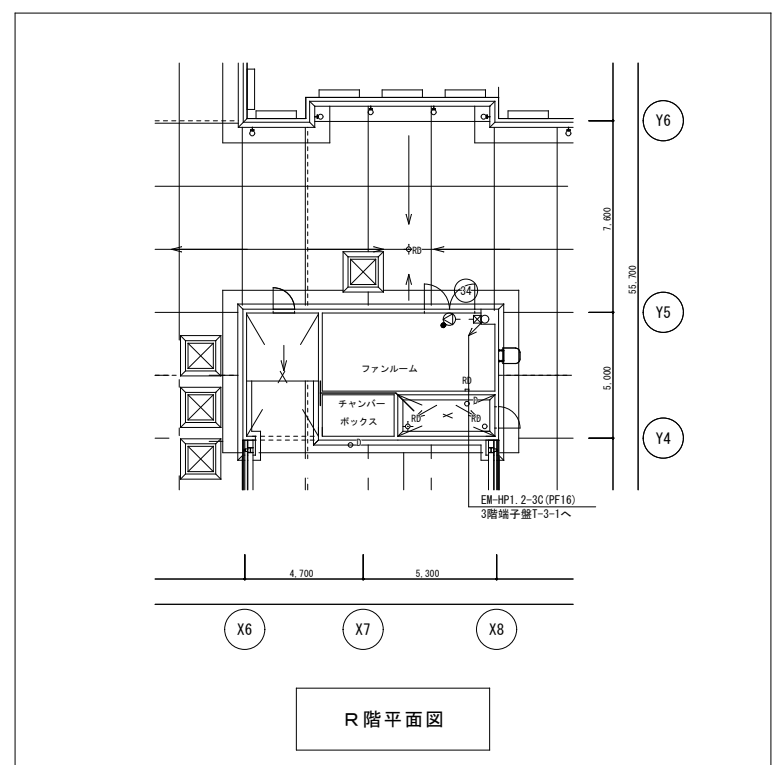


地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------------	-----	-----	----	----	----

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : 1/150 A3 : 1/300	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	放送設備 新館棟 2階平面図 (改修後)	E-21



- 配線凡例**
- EM-HP1.2-2C コロガシ
 - EM-HP1.2-3C コロガシ
 - 防火区画貫通処理
- 細線は既存残置、太線は新設とする
- 機器凡例**
- ⊙ 天井スピーカー
 - ⊙ 天井スピーカー ATT付
 - ⊙ アッテネタ
 - ジャンクッションボックス
- 細線は既存残置、太線は新設とする
傍記「再」は取外し再取付とする



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : 1/150 A3 : 1/300	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	放送設備 新館棟 3・R階平面図 (改修後)	E-22

配線凡例

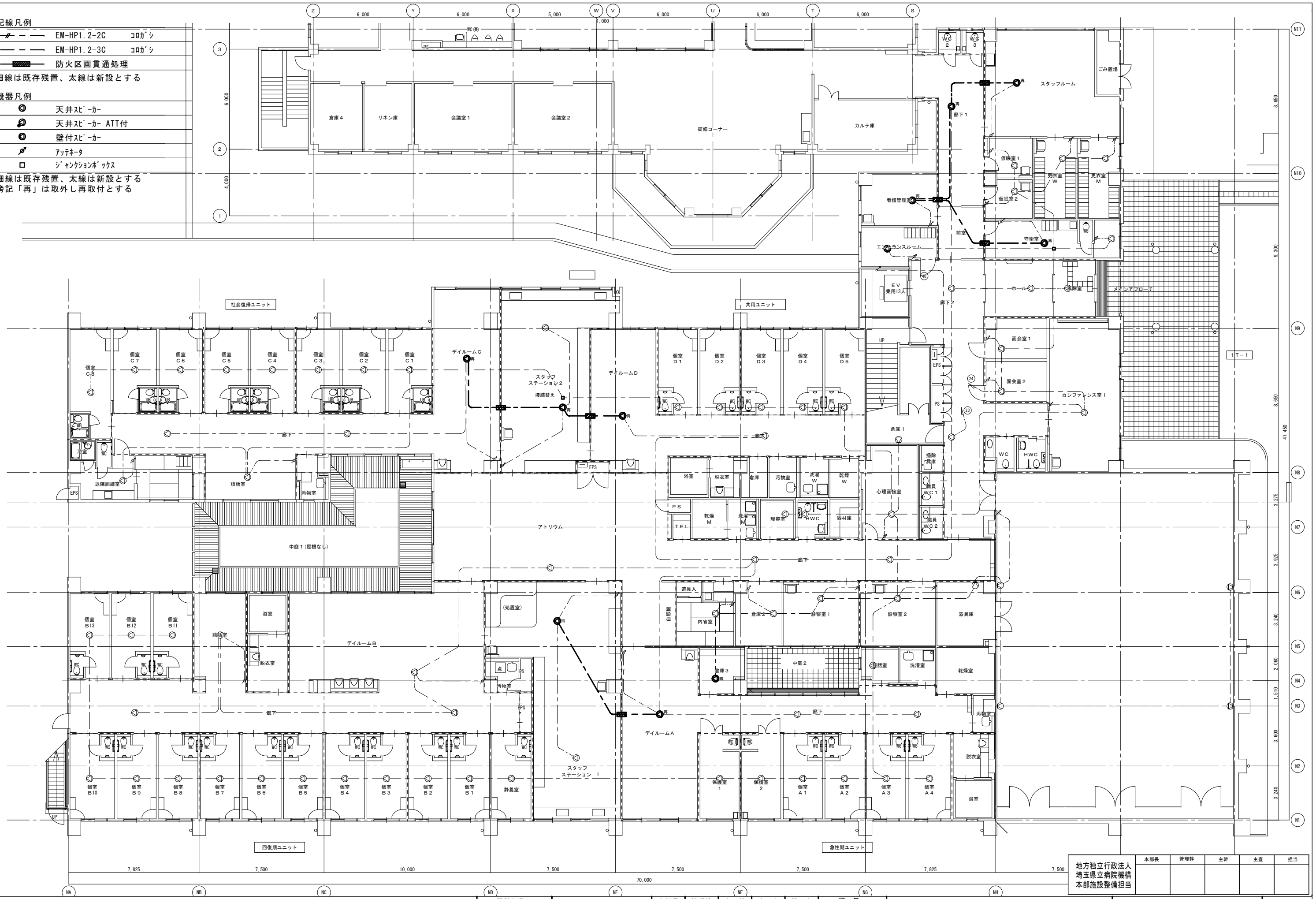
- EM-HP1.2-2C コロガシ
- EM-HP1.2-3C コロガシ
- 防火区画貫通処理

細線は既存残置、太線は新設とする

機器凡例

- ⊙ 天井スピーカー
- ⊙ 天井スピーカー ATT付
- ⊙ 壁付スピーカー
- ⊙ アッテネータ
- ジャンクションボックス

細線は既存残置、太線は新設とする
傍記「再」は取外し再取付とする



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------------------	-----	-----	----	----	----

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1 : N/S A3 : N/S	23精神医療センター緊急通報設備ほか改修工事	放送設備 医療観察病棟 1階平面図 (改修後)	E-23